

## Safety Data Sheet 安全データシート

作成日：2005年7月1日

改定日：2026年4月1日

---

### 1. 化学品及び会社情報

---

化学品の名称：LD-OXI エルディーオキシ

製品コード：505-0159

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：洗濯用洗剤

使用上の制限：上記の用途以外で使用しないこと

供給者の会社名称：インテックスソリューション株式会社

住所：埼玉県さいたま市岩槻区大戸1688-8

電話番号：048-799-0993

FAX：048-799-1056

電子メールアドレス：info@intexsolution.com

緊急連絡先：048-799-0993

---

### 2. 危険有害性の要約

---

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

酸化性個体：分類対象外

その他については分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）：区分4 飲み込むと有害

急性毒性（吸入）：区分4 吸入すると有害

その他については分類できない

皮膚腐食性/刺激性：区分1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分1

その他については分類できない

環境有害性

水生環境有害性 短期（急性）：区分2

水生環境有害性 長期（慢性）：区分2

## GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

火災助長の恐れ：酸化性物質

H302：アルカリ性のため飲み込むと有害

H312：皮膚に接触すると有害の恐れ

H332：吸入すると有毒

H316：生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

H401：水性生物に毒性

H412：長期継続的影響によって水性生物に有害

注意書き

安全対策

P201：使用前に取扱説明書を入手すること

P202：全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと

P273：環境への放出を避けること

P233：容器を密閉しておくこと

P240：容器を設置しアースを取ること

P260：防塵・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと

P271：屋外または換気の良い場所だけで使用すること

P264：取扱後は汚染箇所をよく洗うこと

P280：指定された個人保護具を使用すること

P270：この製品を使用するときに飲食または喫煙をしないこと

応急処置

P370+P378：火災の場合は指定された消化剤を使用すること

P391：漏出物を回収すること

P321：特別な処置が必要である

P314：気分が悪いときは、医師の診察・手当てを受けること

P308+P311：暴露または暴露の懸念がある場合は、医師に連絡すること

P304+P340：吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

P302+P352：皮膚に付着した場合は大量の水・適切な薬剤で洗うこと

P303+P361+P353：皮膚（または髪）に付着した場合は直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、  
皮膚は水又はシャワーで洗うこと

P332+P313：皮膚刺激が生じた場合は医師の診察・手当てを受けること

P362+P364：汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること

P305+P351+P3338：眼に入った場合は水で数分間注意深く洗うこと

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、外すこと  
その後も洗浄を続けること

P337+P313：眼の刺激が続く場合は医師の診察を受けること

P331：無理に吐かせないこと

P301+P310：飲み込んだ場合は直ちに医師に連絡すること

## 貯蔵

P403：換気の良い場所で保管すること

P233：容器を密閉しておくこと

P235：涼しいところにおくこと

## 廃棄

P501：内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

---

## 3.組成及び成分情報

---

化学物質・混合物の区別：混合物

製品分野：粉末洗浄剤

含有成分及び含有量

成分名	CAS NO.	含有量 (%)
無機アルカリ剤	非公開	75>
珪酸塩	非公開	10>
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸	25155-30-0	5>
過炭酸ナトリウム	15630-89-4	15>

---

## 4.応急処置

---

### 応急措置の記述

#### 一般的な措置

気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること

暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診察・手当を受けること

#### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

気分が悪いときは医師に連絡すること

#### 皮膚（又は髪）に付着した場合

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、皮膚を水で洗うこと

汚染された衣類は洗濯してから使用すること

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察・手当を受けること

#### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、外すこと。

その後も洗浄を続けること、診察を受けること

#### 飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと

直ちに医師に連絡すること

---

## 5.火災時の措置

---

本品は不燃性であるが火災の際、火災を助長する恐れがあり、火元から遠ざける

### 消化剤

適切な消化剤：該当しない

使ってはならない消化剤：該当しない

特有の危険有害性：該当しない

消化を行う者への勧告（周辺火災の場合）

#### 特有の消化方法

関係者以外は、安全な場所に退去させること

漏洩した場合、着火源を除去すること

状水により容器を冷却する

安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護すること

消火水の下水への流入を防ぐ

#### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は望遠服を着用すること

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する

---

## 6.漏出時の措置

---

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない

換気不十分な場所で漏出を処理する時は呼吸保護具を着用する

適切な保護具を着用する

着火源を取り除くとともに換気を行う

### 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める

少量の場合、ウエス、雑巾などでよく拭き取り適切な排気容器に回収する

---

## 7.取扱及び保管上の注意

---

### 取扱い

#### 技術的対策

取扱者の暴露防止

ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと

ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること

(局所換気、全体換気)

排気/換気設備を設ける

(注意事項)

皮膚に触れないようにする

眼に入らないようにする

#### 安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと

屋外又は換気の良い場所だけで使用すること

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること

保護手袋を着用すること

保護眼鏡/保護面を着用すること

指定された個人用保護具を使用すること

#### 接触回避

強酸化性物質との接触を避けること

#### 衛生対策

取扱い後は、よく手を洗うこと

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること

#### 保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと

---

## 8.ばく露防止及び保護措置

---

### 管理指標

#### ばく露防止

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること

---

## 9.物理的及び化学的性質

---

### 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 白色粉末  
臭い 無臭  
臭いの閾値データ データなし  
PH 約11.0 (1%水溶液)  
沸点又は初留点 該当しない  
融点/凝固点データ 該当しない  
分解温度データ データなし  
自己促進分解温度 データなし  
可燃性 (ガス、液体及び固体) :  
引火点 無し  
自然発火点 無し  
臨界温度 無し  
爆発加減限界および爆発上限限界/可燃限界 該当しない  
蒸気圧 該当しない  
蒸気密度 該当しない  
VOC 該当しない  
相対ガス密度 (空気=1) 該当しない  
20°Cでの蒸気/空気-混合物の相対密度 (空気=1) :  
嵩密度 0.9~1  
溶解度 水に対する溶解度 容易の溶解する  
溶媒に対する溶解度 データなし  
n-オクタノール/水分配係数データ : データなし

---

## 10.安定性及び反応性

---

### 反応性

反応性データなし

### 化学的安定性

通常の保管条件/取扱条件において安定である

### 危険有害反応可能性

空気と混じると爆発性混合物を生成する

### 避けるべき条件 高温、衝撃

混触危険物質 酸性物質と反応して発熱する

危険有害な分解生成物 炭素酸化物

## 11.有害性情報

### 無機アルカリ剤

刺激性	(眼)	うさぎの目に100mg投与し、24hr後の観察にて刺激性中程度
刺激性	(皮膚)	うさぎの皮膚に500mg塗布し24hrの観察にて刺激性軽度
感作性		なし
急性毒性	LD50 (ラット 経口)	4.090 (mg/kg)
	LD50 (マウス 腹腔)	117 (mg/kg)
	LC50 (モルモット 吸入)	800 (mg/m <sup>3</sup> /2hr)
慢性毒性	家畜に高濃度(1~10g/l, 1.5~2.8g/kg・D)	飲水させ下痢、栄養不良、発育不全
生殖毒性	マウス 子宮内	TDL0=84.8g/kg 着床前死亡率に影響

### 珪酸塩

急性毒性	経口	マウス LD50= 770mg/kg
		ラット LD50=1150mg/kg
		イヌ LDL0= 250mg/kg
	腹腔	モルモットLDL0= 200mg/kg
刺激性		ラビット 250mg/24hr Severe
その他の毒性		実験報告はない

### 過炭酸ソーダ

急性毒性	マウス 経口	LD <sub>50</sub> =2050mg/kg
	マウス 経口	LD <sub>50</sub> =2200mg/kg

皮膚腐食性 データなし

皮膚刺激性 皮膚に接触した場合軽い炎症を起こすことがある。

眼刺激性 眼に入った場合に刺激を感じ、眼を損傷するおそれがある。

慢性・長期毒性 データなし

感作性 なし 変異原性

変異原性は認められない。

発がん性	LARC	未設定
	NTP	未設定
	EU	未設定
	日本産業衛生学会	未設定

催奇形性 データ無し

生殖毒性 データ無し

### 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩

急性毒性	ラット 経口	LD <sub>50</sub> =650~2500mg/kg
	ウサギ 経口	LD <sub>50</sub> =1730mg/kg

局所効果 皮膚刺激性 モルモット1、10、30%塗布、10分または2時間後に洗淨 10%以上では反応を認められたが、1%では無刺激性であった。

眼刺激性 家兎 0.01%では無刺激性である。

感作性 感作性なし

変異原性 変異原性は認められない。

発がん性 報告なし

---

## 12.環境影響情報

---

### 無機アルカリ剤

毒性 魚毒性：鯉 250～300ppm 数時間で致死

珪酸塩 環境影響に対する実験報告なし

### 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩

残留性/分解性 好気条件下では徐々に分解されるが、嫌気条件下ではほとんど分解されない。

生態毒性 海水魚 LC50 (96h) = 1.0～5.0mg/L

淡水魚 TL<sub>m</sub> = 3～5ppm

### 過炭酸ソーダ

移動性 データなし

残留性/分解性 データなし

蓄積性 データなし

魚毒性 データなし

---

## 13.廃棄上の注意

---

### 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること

---

## 14.輸送上の注意

---

### 国連番号、国連分類

国連番号 3378

正式輸送名 過炭酸ナトリウム

分類又は区分 5.1 (酸化性物質)

容器等級 II

IMDG Code (国際海上危険物規定)

国連番号 3378

正式輸送名 過炭酸ナトリウム

分類又は区分 5.1 (酸化性物質)

容器等級 II

IATA 航空危険物規則書

国連番号 3378

正式輸送名 過炭酸ナトリウム

分類又は区分

容器等級 III

環境有害性

MARPOL条約付属書III 一個品有害物質による汚染防止法

海洋汚染物質 (該当/非該当) 該当 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸Na

MARPOL条約付属書V 廃物排出による汚染防止法

生殖毒性 該当 生殖毒性 区分2

水生環境有害性 該当 急性区分2、慢性区分2

バルク輸送におけるMARPOL条約付属書II改訂有害液体物質及びIBCコード 非該当

---

## 15.適用法令

---

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

消防法	該当せず
労働安全衛生法	CAS.25155-30-0 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸
毒物及び劇物取締法	該当せず
P R T R 法	第1種指定化学物質 No 30 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩
海洋汚染防止法	Y類物質（アルキルベンゼンスルホン酸Na溶液）
船舶安全法	酸化性物質類・酸化性物質
航空法	酸化性物質類・酸化性物質

---

## 16.その他情報

当該製品は、米国で製造され輸入された製品です。SDSに記載されている情報は、製造元から提供された情報と独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）のNITE-Gmicsから分類された参考情報をもとに国内の法規制に照らし合わせたものとなります。

### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改定されることがあります。また注意事項は通常を取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。